

1. 本年度の保育の重点

- (1) ほめてのばす保育～子どもの良いところをタイムリーにほめるように心がける。
- (2) 音楽に力を入れた取組～青組(年長)で新しく音楽の活動に取り組む。
- (3) 教育水準の確保～コロナ禍においても最大限の効果が得られる教育を追究する。

評価段階      A とても思う      B そう思う      C あまり思わない      D まったく思わない

分野	評価項目	自己評価
教育内容について	①今年度の運営の重点「ほめてのばす保育」「音楽に力を入れた取組」「教育水準の確保」を達成できるよう努力しましたか。	B
	②子どもの発達段階や興味関心、教育要領を踏まえて計画的に保育にあたりましたか。	B
	③恵まれた自然の中での遊びを通して、豊かな心や健やかな身体を育む保育に努めましたか。	A
	④子どもとの信頼関係を基盤とし子どもが安心して自分らしさを表現できるようにする保育に努めましたか。	B
	⑤遊びを通して子どもの意欲や興味・関心を広げ、様々な気づきや学びが生まれるようにする保育はできましたか。	A
	⑥人との関わりを通して、人と関わる楽しさやお互いを大切にする心を育む保育はできましたか。	A
	⑦社会生活を送る上で必要な習慣や態度を身につけ、社会の中で健康で楽しく生活できる態度を育む保育はできましたか。	B
	<b>改善策</b>	改善策に対する評価
コロナ禍による制限の中、保育内容や行事等を見直しながら進めてきた。最善の方法を考え行ってきたが、保護者からは、外遊びや戸外での活動が少なかったのではとの意見や、行事について具体的な意見、要望があった。環境を生かした保育、活用の仕方の工夫、それに加え子どもたちの姿、戸外活動の様子等を保護者に伝えていく必要があった。それらの反省を踏まえ、次年度に向け教師間での細かな打ち合わせ、伝え合いがより重要な状況であることを再確認し、保育についての見直しをしていきたい。	<b>A</b>	
<b>学校関係者評価委員による意見</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちの考え方などに変化なく、通年通りを心がけて保育に当たっていると認識している。ただ、親の中での意見の分かれ方が非常に幅広かった。園の判断について残念に思うものもあったが、納得している。</li> <li>・恵まれた自然を生かし、自立心や共同性を育む保育が具現化されていると思う。コロナ禍でありながらも、活動を充実させる努力を積み重ねられていることが分かった。</li> <li>・今年度、コロナの影響で通常の保育が制限される中で保護者のニーズに応えるのが難しい状況だった。次年度は保護者のニーズに少しでも応えられる保育方法を考えていくことが求められると思う。また、教師間の伝え合いを具体的にどのようにするのかを次年度の目標に掲げてみてはいかかが。</li> </ul>		

分野	評価項目	自己評価
保護者との連携	⑧一人一人の育ちを伝え合い、保護者との連携を図りましたか。	B
	⑨おたよりや懇談などを通して幼稚園の考えや様子は伝わっていますか。また、発信方法等の工夫はできましたか。	B
	⑩保護者の立場や考えを理解しながら、謙虚な姿勢で接することができましたか。	B
	<b>改善策</b>	改善策に対する評価
	コロナ対策により行事等を縮小せざるを得ないこともあったが、令和2年度の経験を踏まえながら、できる限りの方法で対策をとり、懇談会等において保護者の参加ができるよう努めてきた。また、子どもたちの様子がより伝わるように、行事等の動画での配信や、写真を取り入れた便りなどで家庭への発信をしてきた。そのことで、保育の様子、その中での子どもの姿を伝えることができていると考える。保護者の声より、園の教育を理解していただく方法として有効であることが確認できた。次年度は発信方法のさらなる工夫、改善を検討し、保護者への理解をより得られるようにしていく。	<b>A</b>
<b>学校関係者評価委員による意見</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園との連携が難しい部分があった。オンラインや発信方法に対して、オンライン配信推奨の新しい意見と個人情報保護のためオンライン反対等、保護者間の考えの違いが大きかった。次年度ばんけい幼稚園らしい方法で連携をとってほしい。</li> <li>・保護者アンケートの記述から、子どもの様子をわかりやすく伝える工夫がなされていると思われます。</li> <li>・行事等が縮小される中、アンケートを見ると保護者はほぼ満足していると考えられます。教育の様子をリモートで伝える工夫が評価されている結果と考えます。個人情報の観点に注意しながら今後も引き続き対応を継続してください。</li> </ul>		

分野	評価項目	自己評価
研究について	⑪研究のねらいを理解し、計画的に実践し取り組んできましたか。	B
	⑫研究の大切さを理解し、積極的に取り組んでいましたか。	C
	<b>改善策</b>	改善策に対する評価
	令和2年度の反省から教師が個々に課題を見つけ、無理なく研究に取り組めるように計画してきたが、保育準備や日々の保育を行う中において、研究に対して積極的に取り組めなかったとの反省が聞かれた。テーマを持ちながら、子どもたちの姿から学び、無理なく続けていけることを目標に取り組んでいく。	<b>A</b>
	<b>学校関係者評価委員による意見</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外での活動を通じた成長や、環境を活かした保育に魅力を感じて通わせるご家庭が多いので、先生たちの子どもへの思いや保育への思いが全面に発動できるばんけい幼稚園のスタイルがいち早く戻ることを祈っている。</li> <li>・日々の保育の充実に結び付く研究推進を期待する。</li> <li>・詳細は分からないが、研究についての項目が必要なのか疑問である。大きなテーマではなく日々の教育が研究テーマであり、その振り返りが日々の教育の研究になると考える。</li> </ul>		

分野	評価項目	自己評価
勤務 姿勢 につ いて	⑬体調管理に気をつけ、元気に保育ができていますか。	B
	⑭社会情勢や幼児教育に対する要請、期待を受け止め、保護者の願いや思いをしっかりと受け止めることができましたか。	B
	⑮ばんけい幼稚園の組織の一員として、お互いを認め積極的に連携・協力して運営に参加することができましたか。	B
	⑯ばんけい幼稚園の運営組織（理事会、評議員会の方針）を理解しながら、職務を遂行することができましたか努めましたか。	B
	<b>改善策</b>	改善策に対する評価
	<p>昨年に引き続き、園として感染症の感染防止対策の徹底を図るため、これまで以上に衛生、健康管理に努めてきた。子どもたちの安全を第一に意識し、行事や活動の持ち方等を検討し、行政や、市内の小学校、幼稚園の情報収集に努め、対応策について検討を積み重ねてきた。引き続き情勢を総合的に検討、判断しながら保育を進めていきたい。</p> <p>全体的には園長を中心とした運営に努め、組織の一員として運営に参画する意識を高めてきた。</p>	<b>A</b>
<b>学校関係者評価委員による意見</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教師のワクチン接種による休園は反響がありましたが、毎日の消毒や、対策意識の高さは、先生が考えて忙しい中気をつけてくださっている事で、安心して通わせている。園長先生を筆頭にした組織で先生たちの安心の中で保育が続くことを願う。</li> <li>• コロナ対応で業務量が増えていることと思う。働き方改革の視点も大切にしながら、職員の皆様が、協働してよりよい園運営を進めていけるとよいと考える。</li> <li>• コロナ禍の健康管理は引き続き安全第一に取り組みをお願いする。英語や音楽を充実し、さらに魅力のある幼稚園を目指してスタッフ皆さんで取り組んでほしい。</li> </ul>		